年間授業計画 新様式例

高等学校 令和８年度（１学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教 科： 芸術　　科 目： 美術Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：髙野雄生） （2組：髙野雄生） （3組：髙野雄生） （4組：髙野雄生） （5組：髙野雄生） （6組：髙野雄生）

使用教科書：（ 美術Ⅰ 光村図書 ）

教科 芸術 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】学習を通して感性を高め，心豊かな生活を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めること。創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け，意図に応じて表現方法を創意工夫し，表すこと。	造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考えるとともに，主題を生成し発想や構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすること。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとすること。多角的な視点を持ち、対象を観察する術を身に付けようとすること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 題材 表現デザイン(色紙を用いたポストカードの制作) 【知識及び技能】 シルエットが鑑賞者に与える印象について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りのものから形を抜き出し、創造的な表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取ろうとする。	・指導事項 構図の違いが鑑賞者に与える視覚効果について。カッターを用いた基本的な紙の加工方法について ・教材 教科書、配布プリント，はさみ、カッター、のり、色紙 ・1人１台端末の活用 等	○			○	【知】構図を理解し作品制作の中で応用することができる。 【思】「身近の周りのもの」というテーマに対して自分自身の考えを持ちながら表現形式の特性を生かし， 色彩，構成などについて考え，表現の構想を練っている。 【学】主体的に絵画表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	A 表現 絵画（アクリル絵の具を用いた絵画作品） 【知識及び技能】 スタンピングを用いた表現方法ついて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 温度を連想する場面を想像し、絵画表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主題に対して自身の経験をもとに考えを深め，表現しようとする。	・指導事項 絵画表現における構図の役割について。スタンピング技法を用いた表現方法について ・教材 教科書、配布プリント，アクリル絵具、スポンジ，カッター，ハサミ，画用紙 ・1人１台端末の活用 等	○			○	【知】構図を理解し作品制作の中で応用することができる。スタンピング技法を用いて作品を制作することができる。 【思】温度というテーマに対して自分自身の考えを持ちながら表現形式の特性を生かし， 色彩，構成などについて考え，表現の構想を練っている。 【学】主体的に絵画表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	A 題材 表現 デザイン(アクリル絵の具を用いたポスターの制作) 【知識及び技能】 ポスターの持つ情報伝達機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化祭というキーワードからイメージを広げ、表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文化祭のテーマに対して自ら進んで考えを深め，表現しようとする。	・指導事項 ポスターデザインにおける構図の効果について，アクリル絵の具を用いた表現技法について ・教材 教科書、配布プリント，アクリル絵具、筆記用具，イラストレーションボード ・1人１台端末の活用 等		○		○	知】ポスターの持つ機能を理解し、作品制作の中で応用することができる。アクリル絵の具を用いて作品を制作することができる。 【思】共通したテーマに対して自分自身の考えを持ちながら表現形式の特性を生かし， 色彩，構成などについて考え，表現の構想を練っている。 【学】主体的にポスター制作における表現及び鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
2学期	A 題材 表現 彫刻(透かし彫りを用いたハンガーの制作) 【知識及び技能】 透かし彫りの持つ視覚効果について理解する。 切削工具を扱い、木材を加工する。 【思考力、判断力、表現力等】 透かし彫りの特性を理解し、木彫表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の在来種に対して自ら進んで調べ、作品に取り入れようとする。	・指導事項 透かし彫りを用いた木彫作品の装飾としての機能について，木彫の表現技法について ・教材 教科書、配布プリント，糸鋸,彫刻刀、筆記用具，木材,仕上げ用ワックス ・1人１台端末の活用 等	○			○	【知】透かし彫りの持つ視覚効果を理解し、作品制作の中で応用することができる。切削工具を用いて作品を制作することができる。 【思】伝統的な木彫技法に対して自分自身の考えを持ちながら造形表現の特性を生かし， 構想を練っている。 【学】主体的に透かし彫りを用いた木彫における制作及び鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○	24
3学期	A 題材 映像メディア表現(コマ撮りアニメ) 【知識及び技能】 アニメーションについて学習し，自らの作品制作に生かす。 【思考力、判断力、表現力等】 アニメーションにおける表現方法や工夫などについて考え，見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられたテーマについて身の回りの環境から主題を生成し、自ら進んで考えを深め，表現しようとする。	・指導事項 アニメーションにおける表現方法について ・教材 教科書、配布プリント，1人1台端末 ・1人１台端末の活用 等			○	○	【知】アニメーションにおける表現活動の幅広さ を理解し、作品制作に生かすことができる。 【思】アニメーションに対して自分自身の考えを 持ちながら主題を生成し，構想を練っている。 【学】主体的にグループによる制作を行い、作品制作及 び鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16 合計 70